

実施クラス			実施日	実施保育者名
5 歳児	やま	組	5 月 13 日 (火)	田島

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ~自然~ 公園にあるものをしらべよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>戸外で生き物など興味のあるものを見つけて友だちや保育者に伝える様子が見られる。見つけたものを触ったり色を比べたりしながら「なんだかツルツルするね。」「形がちよっと違うね。」といった気付きから会話を広げ興味を深めていた。また、散歩中に草花や虫などの自然物に関心を示し、「これなんだろう?」と保育者に問いかける姿がある。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9:20~9:30	<ul style="list-style-type: none"> 公園図鑑を見ながら、どんな物があるのか思い出してみる。 まとめた物の中から、公園で何を見つけたのか話し合う。 今日の探索活動に必要な素材や持ち物について話し合い、目的地の公園を選定し、持ち物の確認をする。 	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園など、安全に探索できる場所を選定する。 公園内でのルールを確認する。 事前に探索ルートを決め、安全面に配慮する。 子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 <p>【活動使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 春の生き物図鑑 ペットボトル(枯れ防止) 虫かご、虫網 かばん(図鑑を入れるため) スマートフォン ペットボトルの水(手洗い用)
10:20~11:00	<ul style="list-style-type: none"> 決定した公園へ移動しながら、周囲の自然物も注目できるようにする。 公園到着後、それぞれの興味に沿って水辺や植え込みなど生き物を捕まえたり探索しに行く。 友達同士で「何見つけたの?」「池にエビがいるよ。」「図鑑で探しに行こう」と意見を交換し、探究活動を実践する。 生き物を写真で記録に残すのかも決めながら探索する。 	<p>【事前準備】</p> <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。 スマートフォンのバッテリー残量を確認しておく。 探究活動に使用する用具(ポケット図鑑、かばんなど)使用方法をあらかじめ設定しておく。
15:45~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの会の時に、撮影した写真をテーブルに並べ、どんな物を見つけたのか、見つけたものを発表する。 友達の意見を聞いて思ったこと、気づいたことを発表する。 	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・子どもたちは今まで公園で見つけた物を思い出しながら振り返り、どんな物を見つけて観察したいのか考える。</p> <p>・目的地の公園へ移動し、到着後は各自が自分の「気になるもの」を探していく。</p> <p>・公園では、スマートフォンで撮影しつつ、実際に生き物を捕まえたり触ってみたり、その特徴を観察して調べる。写真をその場で確認し合いながら色や形の違いを見つけて話し合う姿が見られた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こっちの見つけたエビの方が大きいね」「お父さんとお母さんかな？」と友達で見つけた生き物を観察していた。 ・「これ、前に見たやつと違うよね。」と友だちに意見を交換する姿があった。 ・「こっちにはどんな生き物がいるかな？」と、場所よっての生き物の違いに疑問を持ち探索活動の範囲を広げていた。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動開始時、「前はオタマジャクシがいたけど、今度は何が見つかるかな。」と声をかけ、前回の様子を思い出すことができるようにした。 ・公園で「前回見つけたオタマジャクシと同じかな？」と問いかけ、子どもの観察を促していった。 ・子ども同士の会話を見守りつつ、気づきに対して「よく気づいたね。」と肯定し、振り返りの会でそれぞれの気づきを知る事ができた。

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<p>・身近な公園の中で様々な発見や気づきを持ち、子ども達自身で積極的に取り組む様子が見られた。</p> <p>・活動中に友だち同士で意見を交わす姿が見られ、自分なりの考えを持ち共有し相手の考えを聞き意見の違いがある事を楽しむ。</p> <p>・また、振り返りの会では「どのくらいで大きくなるのかな？」「他の場所にも居るのかな？」と子ども達も他の場所での探索活動に興味を深めていた。</p> <p>・保育者が寄り添い、問いかけや確認を行うことで、子どもが安全かつ主体的に活動できる環境を整えることの重要性を再確認する機会となった。</p>	<p>日頃から遊んでいる公園で、ただ遊ぶだけではなく、いつもと違った生き物探しで子どもたちの興味・発見が多く見られた活動だった。</p> <p>保育園に戻ってからも、図鑑をじっくり観ている姿もあった。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 やま 組	8 月 5 日 (火)	田島

● 実施計画

活動テーマ	
たべもの ～野菜～	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
給食の献立に使用される野菜などに興味を示し名前を聞く姿などが見られる。	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜について知っていることは何かを問いかける。 ・野菜がどうやってできるのかを考えてみる。 ・野菜が育つ過程を絵本を見ながら知る。 ・種のページで野菜の名前の所を隠し、この種でどんな野菜に育つかみんなで考えてみる。 ・育った野菜の、どこの部分を食べているのか絵本に登場する野菜を見ながら考えてみる。 ・自分の好きな野菜を画用紙に絵と野菜の名前を書いて、次回の活動で使用するカードを制作する。
	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自ら考え発言を出来るようすすめていき、発言しやすい雰囲気作りを行なっていく。 ・安全に探求できる環境を設定する。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。 <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad ・時計 ・やさいずかん ・色鉛筆 ・画用紙 (八つ切りを8等分にしたもの)

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・野菜について知っていることなど問い掛けていき、発言する。出た内容をみんなで共有していく。 ・基本的な野菜の成長していく過程について知り、実際にイラストで見る事で具体的に考える。 ・自分たちが食べている部分はどこの部位なのか予想して、実際に調べてみる。 ・好きな野菜をイラストに描いて、次回使用するカードを制作する。 	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「野菜の芽は全部一緒に見えるね」 ・枝豆と大豆を見比べて、大豆になると異なる特徴に不思議そうにしていた。 ・ネギは葉の部分を食べていることに驚き、何度も図鑑の玉ねぎのイラストを観察していた。 ・「お豆の種は同じ形しているのが多いんだね。」 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図鑑や写真を用いて実際の生育の様子と一緒に確認し、正解を教えるのではなく、気づきに導くような関わりを意識した。 ・子どもたちに読み聞かせを行いながら、要所要所で子ども達が観察する時間や、様子に合わせてじっくりと話を聞く時間を設けていく。

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者自身も野菜の可食部分について初めて知る事が多々あり、子ども達と同じ視点で一緒に考える事ができた。 ・他の野菜の育ちなどにも疑問を持ったり、興味も持つ様子が見られ。 	<p>知らなかったことが分かって来る楽しさが伝わった。自分たちで調べていく中で沢山の発見があり、友達同士で意見を伝えあう姿はとても良い。</p>

実施クラス			実施日		実施保育者名
5	歳児	やま組	11	14日(金)	田島

● 実施計画

活動テーマ		
アート ～不思議な絵～ なんの絵に見える？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
普段から絵を描いたり物を作ったりすることが好きで、製作遊びに取り組む姿が多く見られる。描画活動を行ったり、友だちと一緒に描いたものを見比べたりしながら、身近な絵や模様に関心を寄せている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:30	<ul style="list-style-type: none"> ・前月の振り返りとして、混色クイズを行い、色の違いや混ざったの変化を思い出せるようにする。 ・活動の導入として、「絵ってどんな物があるかな？」と問いかけて、子どもたちの関心を引きつけるようにする。 ・「今から見る絵には、どんな不思議があるかな？」と、これからの活動に対する好奇心を高められるように伝える。 ・最初に「人の顔に見える風景画」「ペンギンと牛」などのだまし絵を観察してもらう。「この絵は何に見える？」と子どもたちに問いかける。 ・子どもたちに意見を述べさせ、各自の感じ方や考えを共有できるようにする。 	【環境設定】 子どもたちが自由に近くで絵を観察できるよう、机などを寄せて広い空間を作っておく。 【準備物】 ○だまし絵 「ペンギンと牛」「人の顔に見える風景画」 ○不思議な絵 「エッシャーの『滝』」「ペンローズの『階段』」
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、少し難易度の高い絵を見せる。 ・「エッシャーの『滝』」や「ペンローズの『階段』」の絵を紹介し、どんな不思議な点があるかを一緒に考えたり、発言できるようにする。 ・「どこか変な所はあるかな？」と問いかけ、絵を見ながら「水は高いところから低いところに流れる」などの自然法則を確認する。 	
11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・「もし、この絵を描いたら、どうしたらこんなふしぎな絵が描けるかな？」と問いかけ、今後のアート活動に向けての興味を高める。 	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>「ふしぎな絵」に関する活動を通じて、子どもたちは自分の目で見る絵の中の不思議さを発見することができた。</p> <p>「牛とペンギン」や「人の顔に見える風景画」のだまし絵を観察し、視点を変えることで見え方が違うことを体験した。</p> <p>また、エッシャーの「滝」や階段の絵を使い、目の錯覚や視覚の不思議を体験することができた。</p>	<p>【子どもの声、様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「顔があるよ」と、不思議そうに驚いた様子を見せていた。 ・顔に見えなかった子が絵を観察していくうちに顔が見えると、嬉しそうに絵を見つめていた。 ・だまし絵を見ながら滝の水はどうなっているのか、階段はどうなっているのか話し合っていた。 ・絵を見て「ここがZみたいになってるよ」「この階段を登るのは関係あるのかな」と話していた。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに問いかけをし、観察していく中で意見を出せるように声掛けをしていった。 ・子どもたちの意見に対して肯定的に受け止めていき、活発に意見を話せるようにした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが錯覚に驚き、自分なりに考え、意見を交わす場面が多く見られた。 ・絵の観察を通じて「どう見えるのか」を意識し、自分の感覚や考えを言葉にすることができた。 ・今後はもっと多様な視覚的なアプローチを取り入れることで、不思議な絵への興味を深めていけるようにしていく。 	<p>数あるトリックアートを見て、友達同士で会話が膨らむ様子が見られていた。保育室内にも、子ども達が興味を持った絵を掲示し、いつでも見られる状態になっており、その絵が目に入るたびに「不思議だよね」などと言いながら見入っている子ども達だった。</p>